

○日南・串間地区大規模氾濫等減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表(詳細内容)

2018/5/23時点

取組番号 【】は 通し番号	主な取組項目	目標 時期	実施内容			
			日南市	串間市	宮崎県	気象庁宮崎地方気象台
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組						
① 情報伝達、避難計画等に関する事項						
[1]	・ホットラインの実施、改善	継続 実施	台風18号:広瀬川(東郷橋)避難判断水位超過、湯上川宮ノ前橋 氾濫注意水位超過 台風22号:土砂災害警戒情報 2回 台風22号:広瀬川(東郷橋、谷之城橋)氾濫注意水位、避難判断水位、(東郷橋)氾濫危険水位、湯上川(宮ノ前橋)氾濫注意水位、避難判断水位	平成29年10月28日、台風22号接近に伴い大雨による本城川氾濫注意水位超過により15時53分にホットライン受信。	【土砂災害に関するホットライン】 <日南土木>10/28 <串間土木>10/29(2回) 【水害に関するホットライン】 <日南土木>6/21、8/6(2回)、9/16(2回)、10/28(2回)、10/29(3回) <串間土木>6/21、8/6、10/28	H29.5.30 減災協議会にてタイムライン・ホットラインを整備 気象台～自治体間については平成26年度から台長及び首長クラスの携帯電話番号を交換して、体制を構築済み
[2]	・タイムラインの活用、改善	継続 実施	台風18号水位超過:活用 台風22号土砂災害:活用 台風22号水位超過:活用	台風22号(平成29年10月28日～29日)の接近に伴い、台風河川タイムライン及び砂防タイムラインを活用。 28日16:30 本城川避難判断水位超過 →避難準備高齢者等避難開始発令 17:30 本城川氾濫危険水位超過 →避難勧告発令 29日4:00 土砂災害警戒情報発令 →市内全域に避難勧告発令	【土砂災害に関するタイムライン】 【水害に関するタイムライン】 台風時などに運用	
[3]	・様々な方法を活用した災害危険性の周知	継続 実施			【土砂災害防止講座】 平成29年6月 地区住民:構成市内7地区 【土砂災害防止パネル展】 平成29年9月 構成市内1箇所(図書館) 【土砂災害防止教室】 平成29年6月 構成市内6小学校・中学校 【防災の日フェア】 平成29年5月27～28日 (パネル展示、映像紹介、風水害チラシ配布) 【メディア】 平成29年5月～6月 メディアの利用(TVやラジオ、新聞など)	洪水警報の危険度分布等をインターネットHP提供を行っており、それらの情報利用について、会議、気象台の見学、出前講座等で説明を行っている。また、防災メール等により情報提供している。
[4]	・ICTを活用した災害情報の提供	継続 実施			県総合河川砂防情報システム(土砂災害危険度情報システムを含む)等により、災害の危険性等の情報をリアルタイムで提供。防災メールで県民向けに雨量や水位等の防災情報を提供	ホームページなどで防災気象情報を提供中。
[5]	・隣接市町村等における避難所の設定(広域避難体制の構築)	平成30年度から 順次実施	宮崎県南部地域大規模災害対策連携推進協議会の枠組みによる広域支援体制の構築を検討。	宮崎県南部地域大規模災害対策連携推進協議会において、広域避難体制の構築、検討を継続している。		
[6]	・浸水想定区域又は土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の市町村地域防災計画における適切な指定	平成29年度から 順次実施	平成30年2月に開催した日南市地域防災計画において、地域防災計画の改訂により、平成30年度から随時、地域防災計画への掲載を実施する。	現在は指定を行っていないため、地域防災計画の指定に向け継続していく。	・県内の対象河川35河川のうち、31河川で想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域の検討に着手 ・土砂災害警戒区域等の指定の推進	
[7]	・要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の推進	平成29年度から 順次実施	浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内にある要配慮者施設のリスタップを実施し、避難確保計画の作成を推進する。	避難確保計画については、市防災計画に指定に伴い作成を推進する。 避難訓練については、一部の要配慮者利用施設で連携して実施し推進を図っている。	要配慮者利用施設に係る部局を集めた調整会議を3回開催し、施設管理者による迅速な避難確保計画の策定や避難訓練等の実施に向け、関係部局間での協力体制の確立、情報共有、各部署における対応事項等の確認を実施。	
[8]	・地域防災計画における避難勧告等発令基準の妥当性の検討	継続 実施	災害情報などの発令後、随時、検討	地域防災計画における避難勧告等の発令基準については、内閣府の避難勧告ガイドラインを基に検討を行い反映を図っており、妥当性について検討を継続していく。		
[9]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組						
② 住民の防災意識の向上に関する取組						
[10]	・想定最大規模の降雨に係る浸水想定区域の指定	継続 実施			県内の対象河川35河川のうち、31河川で想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域の検討に着手	
[11]	・浸水想定区域又は土砂災害警戒区域等の周知促進	継続 実施			県HPIにおいて、土砂災害警戒区域等を周知。また、土砂災害防止講座等においても情報等の提供について周知。	
[12]	・洪水ハザードマップの作成、改訂、周知、支援	継続 実施	現在、全戸配布。 平成31年度を目標に洪水ハザードマップの改訂を実施する予定。	洪水ハザードマップ(H20.3)に作成し、市公式ホームページで周知している。 改定等については、取り組みを継続していく。	ハザードマップの基礎となる想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域の見直しについて、県内の対象河川35河川のうち、31河川で着手	
[13]	・土砂災害ハザードマップの作成、周知、支援	～平成33年度	現在、全戸配布。 平成31年度を目標に土砂災害ハザードマップの改訂を実施する予定。	洪水ハザードマップで作成している土砂災害危険箇所のマップを市公式ホームページで周知しているところである。 作成等については、取り組みを継続していく。	県内市町村の担当者参加のもと、土砂災害ハザードマップ整備促進会議を2回開催し、わかりやすく利用しやすいハザードマップの作成等について意見交換を実施。	
[14]	・まるごとまちハザードマップやマイハザードマップの取組	平成30年度から 順次実施			土砂災害に関するマイハザードマップづくりの支援は、平成30年度から実施予定。	
[15]	・過去災害実績等の周知	継続 実施	過去の災害履歴について(HPIに掲載(地域防災計画に記載))	防災講話等により周知に取り組んでおり、継続していく。	【土砂災害防止講座】 平成29年6月 地区住民:構成市内7地区 【土砂災害防止パネル展】 平成29年9月 構成市内1箇所(図書館) 【土砂災害防止教室】 平成29年6月 構成市内6小学校・中学校 【メディア】 平成29年5月～6月 メディアの利用(TVやラジオ、新聞など)	
[16]	・住民参加型の防災訓練や共同点検出前講座の拡大	継続 実施	自治会(自主防災組織)を中心とした取組を推進するとともに防災講話を各種団体に対して実施している。	住民参加型の訓練・講演を実施。 H29.5.21 土砂災害訓練(6自治会対象) H29.11.19 串間市総合防災訓練土砂災害訓練(9自治会対象) H30.1.21 防災講演会	<日南土木> 6/11に日南市と合同で開催予定だったが大雨で中止 <串間土木> 5/21串間市土砂災害等訓練に合わせて実施	
[17]	・教育機関と連携した防災教育の促進	継続 実施	小中学校・高校・専門学校など市内の教育機関と連携した避難訓練などの実施。	平成30年度から福島高校と連携し防災教育を実施しており、防災教育の促進を継続していく。		宮崎県教育庁と連携で、大雨や地震津波に関して防災学習を実施。
[18]	・あらゆる媒体を活用した地域住民の防災意識啓発のための広報の充実	継続 実施	各種防災講話や市報などを活用した啓発、広報の実施	市の広報誌(平成29年6月号)で台風・集中豪雨による避難について掲載。	【土砂災害防止講座】 平成29年6月 地区住民:構成市内7地区 【土砂災害防止パネル展】 平成29年9月 構成市内1箇所(図書館) 【土砂災害防止教室】 平成29年6月 構成市内6小学校・中学校 【メディア】 平成29年5月～6月 メディアの利用(TVやラジオ、新聞など)	パンフレット、リーフレットの配布による周知広報。
[19]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					

○日南・串間地区大規模氾濫等減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表(詳細内容)

2018/5/23時点

取組番号 【】は 通し番号	主な取組項目	目標 時期	実施内容			
			平成29年度			
			日南市	串間市	宮崎県	気象庁宮崎地方気象台
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組						
③ 地域の防災を担う人材の発掘・育成						
[20]	・防災士の登録拡大を推進	継続 実施	広報紙やポスターの掲示による住民への 防災士養成講座の周知	H29.7.2 防災士養成講座の開催。 平成30年度についても開催予定であり、 市の防災士資格取得助成事業の活用を 推進し登録拡大を継続している。	地域の防災リーダーとして防災士養成研修を実施している。 防災士講座への講師派遣を行っている。	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[21]	・関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	継続 実施	平成29年度は、警報級の降雨のため中 止	関係機関と連携した取り組み。 水防訓練 H29.5.21 土砂災害訓練(6自治会対 象) 連絡体制 H29.6.4 土砂災害伝達訓練(県・市) 情報共有	平成29年6月に、構成市と自治体職員や消防、警察等が参加した 避難訓練(情報伝達訓練)を実施。 日南市土砂災害避難訓練・水防訓練に 参加。	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[22]	・自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川 協力団体との連携	継続 実施	自治会による自主防災組織の組織化の 推進	自主防災組織、水防団(消防団)、防災士 など防災訓練や地域での訓練を通して育 成・強化、連携を図っている。	地域や学校、企業の防災訓練や研修会に防災士を講師として派 遣している。 県内各市町村地区主催の事前講座で防 災学習等の啓発活動を実施。	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[23]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組						
④ 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組						
[24]	・河川監視カメラ配置計画の再検討	平成30年 度から 順次実施			進捗:未実施	
[25]	・安定した雨量・水位情報等を提供できるよう観測局等の機 能向上及び適切な維持管理等	継続 実施			交付金等を活用し、観測局等を含むテレメータ観測システムの適 切な維持管理を実施。 進捗:継続	
[26]	・防災行政無線を利用した情報伝達手段の整備	継続 実施	平成30年度防災行政無線(デジタル)実 施設計の実施	平成17年度 親局1基・中継局3基・ 子局38基 平成26年度 子局31基 平成27年度 中継局1基・子局39基 平成28年度 子局10基 以上を整備している。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[27]	・防災ステーション、避難所等の防災拠点、アクセス路の整 備	平成30年 度から 順次実施		重要避難所として拠点となる6施設指 定し、自家発電設備を整備。		
			進捗:未実施	進捗:継続	進捗:未実施	
[28]	・浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難所 の確保	継続 実施	孤立が予想される地域の対応マニュアル の検討	災害による途絶を考慮し避難所確保のた め民間企業と一時避難所として利用でき るよう協定を締結。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[29]	・浸水や土砂災害による途絶を考慮した基幹避難所にお ける備蓄の強化	継続 実施	孤立が予想される地域の自治公民館な どへの分散備蓄の実施	簡易トイレ、間仕切り、防災マット、簡易 シート、毛布など備蓄強化。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[30]	・要配慮者の利用を想定した避難所等の整備	平成30年 度から 順次実施	現在、福祉避難所の協定(8事業所)	要配慮者の利用を想定し、車椅子・簡易 ベッドを避難所に整備。		
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:未実施	
[31]	・防災メールへの登録促進	継続 実施	自治会長会や各種防災講話での登録の 推進	市公式ホームページに掲載しており、登 録促進を継続。	県庁ホームページにおいて、宮崎県防災・防犯情報メールサー ビスの登録ページを設置し、登録を促進	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[32]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					
(2) 的確な防災活動のための取組						
① 防災体制の強化に関する取組						
[33]	・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	継続 実施	出水期前に水防資機材の点検・補充	重要水防箇所の見直しについては、今後 も県と連携していく。 水防資機材について確認を実施継続し ていく。	<日南土木> 重要水防箇所:平成29年度に見直し済み <串間土木> 重要水防箇所:平成29年度に見直し済み 水防資機材:毎年出水期前に確認	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[34]	・水防団等の確保に関する取組を推進	継続 実施	消防団の確保と併せて推進確保を図 っている。	水防団の確保に関する取り組みは継続 して実施している。		
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:未実施	
[35]	・水防訓練、避難訓練の充実	継続 実施	毎年、水防訓練を実施	水防団(消防団)は、水防訓練を実施し ている。(H29.6.4実施)	平成29年6月に、構成2市と自治体職員や消防、警察等が参加 した避難訓練(情報伝達訓練)を実施。	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[36]	・水防団間での連携協力に関する検討	継続 実施		水防団(消防団)間での連携協力につ いては、連携は図れている。		
			進捗:未実施	進捗:継続	進捗:未実施	
[37]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					
(2) 的確な防災活動のための取組						
② 災害時に拠点となる施設の自衛防災						
[38]	・施設関係者への情報伝達の充実	継続 実施	日南市の防災気象メールや職員メールに より、情報の提供及び共有化	電話やメールでの情報伝達の充実を図 っており継続していく。		
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:未実施	
[39]	・施設の耐水化、耐震化、非常用発電等の整備を促進	継続 実施	施設の耐震化率 98.01%	拠点となる公共施設は耐震化となっ ており、市役所、消防庁舎に自家発電設備 が整備されている。平成29年度に拠点と なる重要避難所に非常用発電設備を整備。	<日南土木> <串間土木> H29非常用水源設備改修	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[40]	・自衛防災マニュアル整備の促進	継続 実施	BCPや災害事象に応じた各種防災対策 計画の策定	整備されていない施設については整備 促進を継続していく。	自衛防災マニュアル作成の基礎となる想定しうる最大規模の降雨 による浸水想定区域の見直しについて、県内の対象河川35河川 のうち、31河川で着手。	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[41]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					

○日南・串間地区大規模氾濫等減災協議会 減災に係る取組方針 進捗状況表(詳細内容)

2018/5/23時点

取組番号 【】は 通し番号	主な取組項目	目標 時期	実施内容			
			平成29年度			
			日南市	串間市	宮崎県	気象庁宮崎地方気象台
(3) 被害の軽減・早期復旧に関する取組						
① 被害軽減の取組						
[42]	・樋門や排水機場等の既存施設を有効に活用するための操作の検証	継続 実施	操作検証は毎年実施している	有効に活用するため操作検証のため、県や管理団体と操作点検を実施した。	<日南土木> 未実施 <串間土木> ・毎年出水期前に串間市と合同で点検を実施 ・津波遡上区間のゲート自動閉鎖化を実施	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[43]	・樋門など既存施設の適切な維持管理	継続 実施	毎月、担当水防団員が点検・操作を実施	適正な維持管理のため操作点検(H29.4.17~18)を実施。	<日南土木> 毎年点検を実施している <串間土木> 毎年の施設点検を実施及び対策済み	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[44]	・災害危険区域等の指定推進	継続 実施	土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定に際した住民説明会の参加	災害危険区域等の指定に向け、県と連携しての土砂災害防止法の指定に伴う説明会を実施。 H29.10.18 船自自治会 H29.10.1 市木地区 H29.10.20 大東地区 H29.11.14 福島地区 H29.11.17 北方地区 H29.11.29 本城地区 H29.11.30 都井地区	・水害危険区域の指定にあたって参考となる、想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域作成の検討について、県内の対象河川35河川のうち、31河川で着手 ・土砂災害警戒区域等の指定の推進	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[45]	・浸水被害軽減地区の指定	継続 実施		平成29年度に指定なし。	・浸水被害軽減地区の指定にあたって基礎資料となる、想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域作成の検討について、県内の対象河川35河川のうち、31河川で着手	
			進捗:未実施	進捗:未実施	進捗:継続	
[46]	・総合流域防災計画に基づく確実な施設整備を推進すると共に適切な維持管理に努める	継続 実施			河川改修事業等を実施	
					進捗:継続	
[47]	・土砂災害から住民を守る施設の整備を行う	継続 実施	H29 細田地区西寺区 H30 細田地区西寺区 南郷地区豊波区	急傾斜地崩壊防止対策事業に該当するものについて工事を継続している。	構成年内13地区において、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業を実施	
			進捗:継続	進捗:継続	進捗:継続	
[48]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					
(3) 被害の軽減・早期復旧に関する取組						
② 早期復旧の取組						
[49]	・氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討・策定	継続 実施		計画については策定されていない。検討・策定を継続していく。		
			進捗:未実施	進捗:未実施	進捗:未実施	
[50]	・水防資機材の保有状況の確認、見直し	継続 実施			<日南土木> 7/4開催の日南地区防災会議において、関係機関で情報を共有した <串間土木> 毎年出水期前に確認	
					進捗:継続	
[51]	・ライフラインを確保するための復旧優先施設の検討	継続 実施	・公共施設を中心に防災拠点施設から復旧を図る。 ・九州電力との協定の締結	燃料の確保については優先施設を決めており、その他のライフラインについては検討を継続していく。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[52]	・被災内容を考慮し、復旧の優先度や支援団体の配置を指揮・調整できる復旧対策指揮体制を構築	継続 実施	現時点では、地域防災計画、BCPIによる。	災害時の拠点となる串間市総合運動公園内に支援団体の配置計画を作成している。体制構築のため継続していく。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[53]	・受援計画の策定	平成30年度から 順次実施	平成29年度に業務継続計画を補完する目的で受援計画を策定した。 今後とも随時、見直しを行うこととしている。	大規模災害時の受援計画については策定に向け取り組みを継続していく。		
			進捗:継続	進捗:継続		
[54]	【自由記入欄】上記以外の実施事項					